

野庭住宅・野庭団地 未来につなぐ会

令和6年7月29日（月） 14：00～16：00（予定）

会場：なごみのば

1. つなぐ会の役割について

2. つなぐ会のメンバーについて

3. イベントや取組の報告

4. 他地域事例の紹介

5. 野庭中学校跡地活用に向けたこれまでの検討について

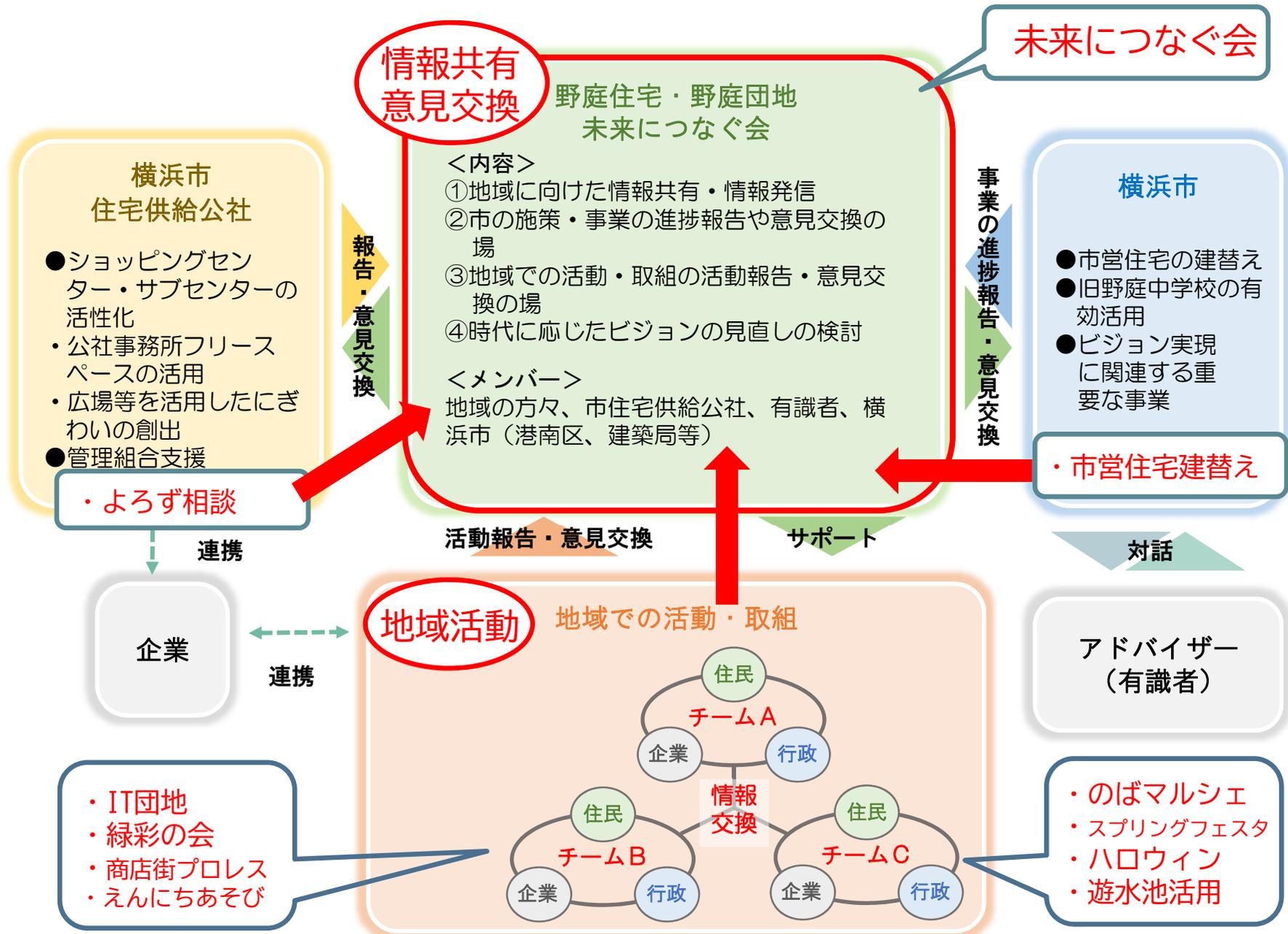
6. その他 市からの新たな取組のご提案

7. 意見交換

8. その他、連絡事項

1. つなぐ会の役割について

1-1 未来につなぐ会の役割





野庭住宅・野庭団地みらいビジョン

10年・20年先のまちの将来を考え

【再生の目標】

みんながつくる魅力あるまち野庭

【再生の方針】

活動：地域活動を続けていくための場・仕組みづくり

拠点：気軽に集まり交流できるみんなの居場所づくり

住まい：多世代が住み続けられる住まいづくり

つながり：人・道・移動・情報等の地域の多様なつながり
づくり





再生の方針 「活動」

地域で取り組んでいきたい取組を関係者で議論し具体化しながら、活動の活性化を図ります

実現に向けた取組イメージ(案)

- ① 関係主体の協働による野庭住宅・野庭団地の再生に向けた体制づくりと取組の具体化
- ② まちの魅力を向上させる地域活動の活性化

・ えんにちあそび
(のびのびのば園、
なごみのば)



・ 緑道での活動
(みどりいきいき)





再生の方針 「拠点」

世代を問わず、生活利便機能の強化・充実、生きがいづくりの場の創出・拡充や、新しい価値観・ライフスタイルに合う新たな魅力的な拠点づくりや取組を推進します

実現に向けた取組イメージ(案)

- ①多様な拠点の場づくり
(商業機能の充実、多世代交流の場、働く場など)
- ②住宅の建替えや余剰地活用による新たな機能の導入
- ③身近な小拠点づくり (集会所の地域開放)
- ④にぎわいや利便性を高めるための拠点づくり
- ⑤広場等を活用したにぎわいの創出



- ・にぎわい
- ・利便性
(移動販売)



- ・にぎわい
(のばマルシェ)



- ・にぎわい
(のぼサブセンターまつり)



再生の方針 「住まい」

住まい

将来にわたりまちを持続させるため、高齢者が安心して住み続けられる環境を整えるとともに、新たな若い世代を呼び込み、若い世代も住み続けたいまちをつくります

実現に向けた取組イメージ(案)

- ① 市営住宅の建替えによる高齢者の継続居住とファミリー世帯の誘導
- ② 多様な主体による、分譲団地の管理に係る支援体制の構築及び新たな魅力づくり (IT団地等)
- ③ 若い世代を呼び込む住み替えの仕組みづくりと住まい方のプロモーション



・住まい
(市営住宅
建替事業)

・住まい
管理支援体制
(公社よろず相談所)

・住まい
(分譲大規模改修)





再生の方針

「つながり」

地域情報の発信により人々の活動等の多様なつながりづくりや、緑道と敷地の一体化や新たな移動手段により、住まいや拠点をつなぎます

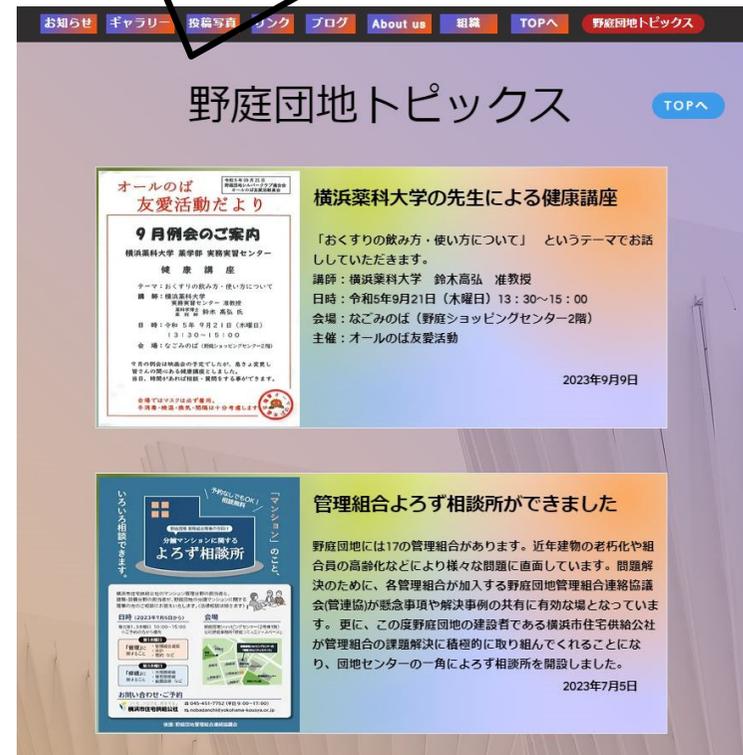
実現に向けた取組イメージ（案）

- ① 地域情報を発信するプラットフォームの構築と活動のつながりづくり
- ② コミュニティのつながりを生む緑道沿いの空間整備
- ③ 既存の緑道・道路を活用した新たな移動手段の導入の検討



・つながり
移動手段（シェアサイクル）

・つながり
地域情報発信（団地ホームページ）



2. つなぐ会のメンバーについて

	氏名	ご所属等
会長	黒田 祐輔	野庭団地連合自治会 会長
副会長	黒川 和紀	野庭住宅連合自治会 会長
メンバー	葵 俊亮	株式会社三春情報センター
	石井 雄輝	学校法人関東学院のびのびのば園 地域連携リーダー
	小嶋 千英子	学校法人ミネルヴァ学園 野庭幼稚園 園長
	鈴木 皓人	野庭団地 青少年指導員
	大力 洋介	野庭団地管理組合連絡協議会 会長
	長堀 幸平	野庭地域ケアプラザ 所長
	林 壽美子	野庭団地地区社会福祉協議会 会長
	播磨 清二	野庭住宅地区社会福祉協議会 会長
	堀部 陽介	野庭団地ショッピングセンター会 会長
	村田 佳代	無印良品 港南台バーズ
	内海 宏	【有識者】株式会社地域計画研究所 代表取締役
	松本 真澄	【有識者】東京都立大学都市環境学部建築学科 助教
	山田 暁央	横浜市住宅供給公社 管理事業課長兼団地再生担当課長
	太田 祐輔	横浜市住宅供給公社 再生事業担当部長兼街づくり事業課長
	曾我 直樹	港南区 区政推進課 課長
小屋畑 育恵	建築局 住宅再生課 課長	
神谷 賢	建築局 市営住宅課 課長	

3. 地域でのイベントや取組

3-1 各取組の活動状況



名称	商店街プロレスイベント
取組	<p>野庭団地ショッピングセンター センター会では9/7(土)に商店街プロレスイベントを開催します。</p> <p>その他、子どもダンス教室、プロスポーツチームやアイドル招致、飲食ブースの設置なども検討しています。</p> <p>(主催:ショッピングセンター会)</p>



※昨年2023年9月7日のタウンニュースに掲載されました。



2023年開催 商店街プロレスの様子

3-2 各取組の活動状況



名称	こどもの日フェスタ
取組	<p>旧野庭中学校にて「こどもの日フェスタ」が開催され、たくさんのお子どもたちはもちろん、年齢問わず多くの方が参加し、盛況でした。こどもが楽しめるゲームコーナーや飲食屋台、乗り物コーナーに加え、和太鼓の演奏や炭坑節の演舞など、思い思いに楽しむ様子が印象的でした。</p> <p>野庭地区を活性化するために野庭町出身の大学生らが立ち上げたまちづくりグループの「ヒカリノバ」もイベント企画から関わるなど、地域のさまざまな主体との協働のもと、笑顔いっぱいの日となりました。</p> <p>(主催：野庭住宅自治会、ヒカリノバ、野庭和太鼓、スポーツ推進委員、社会福祉協議会、野庭研究グループ、青少年指導員、港南区役所)</p>



左から播磨野庭地区社会福祉協議会会長、栗原区長、黒川野庭住宅連合自治会会長、ヒカリノバの皆さん



少し暑いぐらいの快晴のなか、さまざまな企画のテントが立ち並び、盛況でした。



力強くリズムカルな和太鼓の音が会場に響きました。

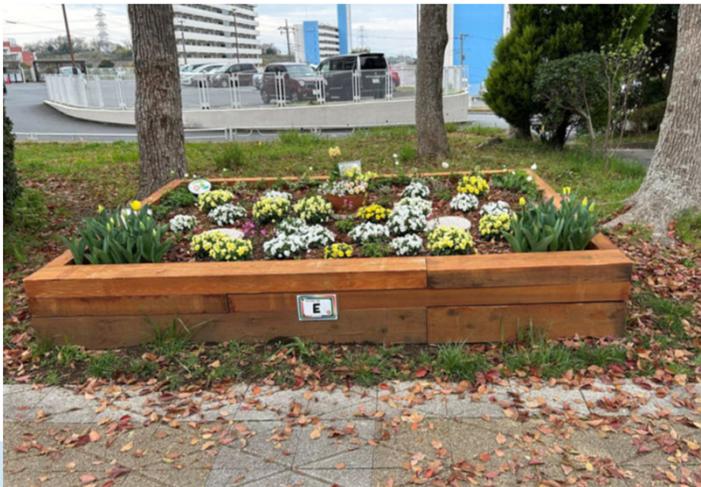
横浜市港南区HP まち・ひと・ダイアリーより引用





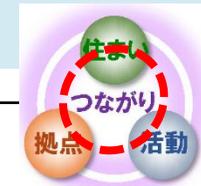
名称	野庭みどりいきいき
取組	<p>緑道の緑化・彩化事業は3年目を迎え、設置が終わった24個の木枠花壇と第4住宅の法面に作った立体花壇が住民の注目を集めています。</p> <p>緑道に花壇が増えていくにつれて、自宅周辺の方々が自発的に水やりや手入れをしてくれるようになりました。花を通して新しい会話の輪が広がりつつあります。近隣の方々が野庭の緑道を散歩コースに加えたとの話も聞こえてきました。</p> <p>本年度追加する12個で花壇の設置は完了します。</p> <p>今後は彩り(いろどり)を取り戻した緑道を計画のテーマである“みどりと花でみんな仲良く楽しいまちづくり”に活かしていきます。</p> <p>(主催: のば緑彩の会)</p>

ショッピングセンターの一角に作られた一番大きな花壇



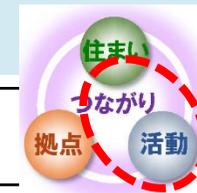
第4住宅の法面に設置した立体花壇





名称	IT団地プロジェクト
取組	<p>IT団地計画ではITを活用して野庭団地を誰もが住みたくなる街にすること目標にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インターネットを上手に利用する(ITスキルアップ教育) ②ITで仕事を効率化する(インフラ整備、効率化ツールの導入) ③インターネットで野庭の魅力を発信する(ホームページ開設) <p>ホームページ開設では、本年度の連合自治会総会で野庭団地ホームページの開設が事業計画として承認されました。2,3の自治会,管理組合でも開設する計画があり、また開設中の“のば緑彩の会”のホームページも併せて検討することになりました。</p> <p>(主催:野庭団地管理組合連絡協議会及び野庭団地連合自治会 他)</p>





名称	遊水池の有効活用
取組	<p>4月16日に野庭団地第2雨水調整池について、野庭団地第9集会所に港南土木事務所の職員を招いて出前講座を行っていただき以下のご説明を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水調整池の役割 ・野庭団地第2雨水調整池概要 ・ビオトープについて <p>尚、秋以降に港南土木事務所による調整池(遊水池)内の浚渫・草刈り等が予定されています。 (主催:野庭団地第2遊水池水辺愛護会)</p>





名称

地域でのその他のさまざまな取り組み

取組

○野庭団地 第1自治会(2/18)

- ・ 設立50周年記念樹植樹



2024年3月のタウンニュースに掲載されました。

○ショッピングセンター(3/16)

- (第1回焼きそば大会:港南区商連主催) 「ノバから」初代王者@上永谷駅前



2024年4月のタウンニュースに掲載されました。

○のぼマルシェ

- ・ 実行委員会 開催 (7/13)



昨年度 2024年3月開催「のぼマルシェ」の様子

4. 他地域事例紹介

■市内_他団地の取組み事例

	団地名	概要	検討・実施主体 《ヒト》	実施内容 《コト》	活動資金等《カネ》	
					初期費用	運営費
1	杉田大谷団地 (450戸) 【1973年築】	・団地の将来目標 「 団地憲章 」の策定	・管理組合 ・自治会	・100年団地を目指す「 団地憲章 」を策定し、管理規約に位置づけ。 ・憲章の理念のもと、団地内活動を支援	「 団地憲章 」策定 ・専門委員会活動(無償)にて検討	管理組合・自治会活動費 ・必要費用は管理費・自治会費から
2	すすき野住宅 (820戸) 【1974年築】	・ みらいビジョン 策定 ・ビジョン実現の 為の運営体制 を構築	・管理組合 ・自治会	・100年団地を目指す「 みらいビジョン 」とそれを実現するアクションを策定。 ・組合運営の支援とビジョン実現を担う『 (一社)団地暮らしの共創 』を設立。	ビジョン検討・策定 ・管理組合よりコンサル委託	社団法人運営費 ・管理費・自治会費から委託
3	南永田団地 (2460戸) 分譲：1035戸 賃貸：1425戸 【1977年築】	・空き店舗を活用し地域の 交流拠点を設置・運営 、 つながり祭 の開催 ・団地で目指す ビジョンを共有	・管理組合 ・自治会 ・社協 ・保育園・学童 ・小・中学校 ・PTA ・商店会・UR ・ケアプラザ等	・多世代の交流まつりとして隔月で「 つながり祭 」を実施。 ・UR空き店舗に地域の交流拠点(コミュニティサロン)を設置。(NPO法人 ほっとサライ 設立) ・元々それぞれの活動団体、グループが取り組んでいた地域の取組みを共通目標 ビジョン として共有。	サロン整備 ・介護予防交流拠点整備事業補助(健康福祉局)	サロン運営費(UR店舗家賃他) つながり祭運営 ・会費(正会員・賛助会員) ・サロン売上げ ・トモニー補助金
4	洋光台南第一住宅 (640戸) 【1971年築】	・集会所建替えにより、住民の 拠点・居場所 設置 ・ タウンマネジメント を検討中	・管理組合 ・自治会	・耐震不足の集会所建替えをきっかけに住民の 拠点・居場所 づくりを議論・実現。 ・住民の自主活動を元に、持続可能な団地を実現することを目指す。	集会所建替え ・管理組合 修繕積立金	委員会・地域活動他の活動・研究費 ・管理費・自治会費から謝金を払う
5	南長津田団地 (488戸) 【1971年築】	・集会所を増築し、 交流拠点 を整備	・管理組合 ・自治会	・集会所を増築し、コミュニティ拠点として整備。 ・カフェ運営の 為の委員会 を設立。	集会所増築 ・介護予防交流拠点整備事業補助(健康福祉局)	運営費 ・カフェ売上げ

5. 野庭中学校跡地活用に向けたこれまでの検討について

6. その他 市からの新たな取組のご提案

7. 意見交換

意見交換

- ・各取組について
- ・他地域事例紹介について
- ・野庭中学校跡地活用について
- ・その他 市からの新たな取組のご提案
- ・その他



8. 連絡事項、その他

閉会

○ 次回の開催は、11月頃を予定しています。

【事務局】

横浜市中区本町6-50-10 24階

建築局市営住宅課 事業担当

(担当)松本、原田、岩井、原島

電話:671-2942

メール:kc-shieijigyo@city.yokohama.jp